

報道関係者各位

No.-61125

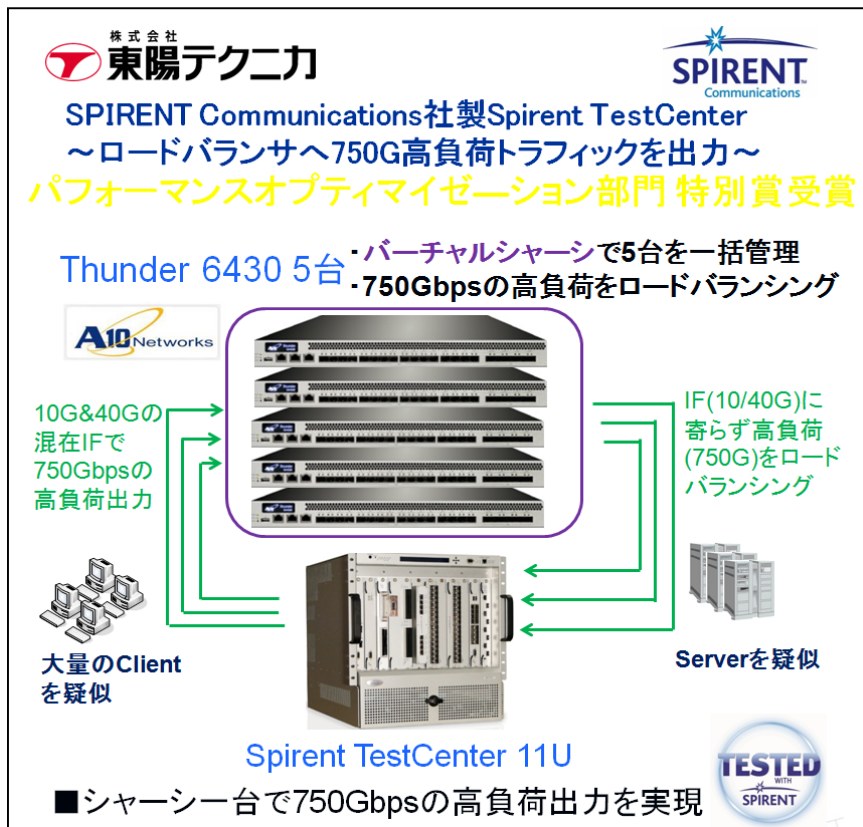
2013年6月21日
株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカ、INTEROP において A10 ネットワークスと共同展示
～ロードバランサへ 750G 高負荷トラフィックを出力～
～2 拠点より Spirent TestCenter で通常・攻撃トラフィック同時出力～

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区、代表取締役社長 五味 勝、以下「東陽テクニカ」)は、ネットワーク関連における日本最大級の展示会である「INTEROP TOKYO 2013」において、A10 ネットワークス株式会社(代表取締役社長兼 CEO ヴァイスプレジデント南 APAC 小枝 逸人、以下「A10 ネットワークス」)と共同展示デモンストレーションを行いました。

東陽テクニカが総代理店となっている米国スパイレント・コミュニケーションズ社の次世代 IP パフォーマンス テスタ “Spirent TestCenter”(以下「Spirent TestCenter」)を使用して下記 2 つの展示を行いました。

- ① Spirent TestCenter より総計 750Gbps の高負荷トラフィックを A10 ネットワークス社製アプリケーションデリバリーコントローラー/ロードバランサ Thunder 6430(以下「Thunder 6430」)に向けて出力。
Thunder 6430 は 1 台あたり、アプリケーションスループット 150Gbps の処理性能で、今回はバーチャルシャーシを使用して 5 台を一括管理。Thunder 6430 が Spirent TestCenter が出力した 750Gbps の高負荷をロードバランシングしている展示を行い、パフォーマンス最適化部門において特別賞を受賞いたしました。(下図参照)

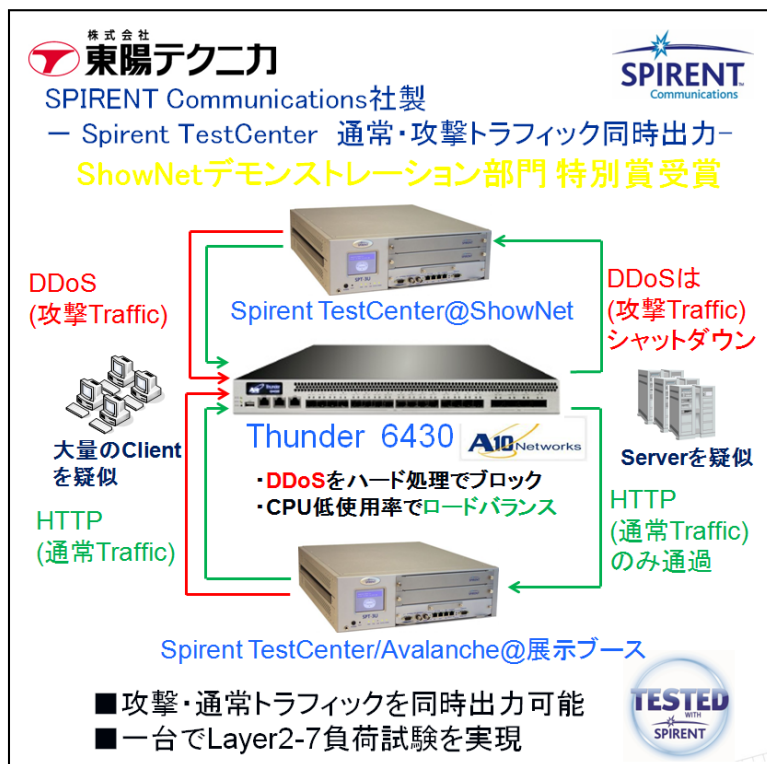


展示内容イメージ



展示ブース:写真右にあるスピードメーターで Thunder 6430 の 750Gbps ロードバランシングを確認

- ② Spirent TestCenterとAvalancheが大量ClientとServerを疑似。大量Clientを疑似したSpirent TestCenterがDDoS(Synflood)の攻撃トラフィック、AvalancheがHTTPの通常トラフィックをThunder 6430に向けて出力。A10 ネットワークス社展示ブースのラックにあるSpirent TestCenterだけでなく、別拠点のShowNet展示ブースにあるSpirent TestCenterからも同時に攻撃トラフィックを出力。Thunder 6430はDDoS等の攻撃トラフィックを専用ハードウェアFTA-3(Flexible Traffic ASIC-3)で処理するため、通常トラフィックのバランシングに影響することなく攻撃トラフィックを防御している展示を行い、ShowNet デモンストレーション部門において特別賞を受賞いたしました。(下図参照)



展示内容イメージ

(参考)

INTEROP Tokyo 2013 | More Clouds, More Ways, More Innovations

開催場所: 幕張メッセ

開催日時: 2012年6月12日(水)~6月14日(金)

<http://www.interop.jp/2013/>

[米国スパイレント・コミュニケーションズ社 (Spirent Communications)について]

スパイレント社は、研究開発ラボや通信事業者、通信機器製造会社、一般企業のIT部門などで使用されるテスト機器の製造販売やコンサルティングサービスを行う業界のリーダ企業です。同社のソリューションによって40/100ギガビットイーサネットなどの有線から無線、衛星通信に至るまで、あらゆるお客様のQoE(Quality of Experience)を高めることができます。東陽テクニカは同社の日本国内における総代理店です。

[Spirent TestCenter について]

Spirent TestCenter は、スパイレント社が AX/4000 や SmartBits で培ったノウハウをもとに、全ストリームのリアルタイム/ハイパフォーマンス QoS(Quality of Service)/QoE 解析やルーティング/アクセスプロトコルエミュレーション、サーバ仮想化など様々なアプリケーションに対応した業界標準のIPパフォーマンステスタです。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和28年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400人を超える全従業員の8割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、<http://www.toyo.co.jp> をご覧ください。

【Thunder/AX シリーズについて】

A10 ネットワークスの Thunder/AX シリーズは、高いコストパフォーマンスと拡張性を実現したアプリケーションデリバリーコントローラー/サーバーロードバランサです。ハイパフォーマンスで拡張性の高いアプリケーション配信環境を構成しつつ可用性を最大化することによって企業やISPのビジネスをサポートします。Thunder/AX シリーズが搭載する Advanced Core Operating System(ACOS)は、Scalable Symmetrical Multi-Processing (SSMP)テクノロジーを搭載する革新的なOSであり、数々の賞を受賞しています。設計段階から最適化されたマルチCPUアーキテクチャを持つACOSは、パフォーマンス、拡張性、信頼性において他社製品よりはるかに優れています。詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

<http://www.a10networks.co.jp/products/axseries/>

【A10 ネットワークス株式会社について】

A10 ネットワークス株式会社は、米国 A10 Networks の日本法人として、2009年3月に設立されました。米国に本社をもつ「日本企業」として、日本のお客様の意見や要望を積極的に製品に取り入れると共に、ネットワーク・セキュリティ分野のテクノロジーリーダとして、常に革新的なソリューションをタイムリーに且つリーズナブルな価格でご提供することを使命としています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.a10networks.co.jp/>

“Spirent TestCenter”およびスパイレント社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 情報通信システム営業部

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: spirent-web@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: kikaku@toyo.co.jp

- * 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。
- * 記載の商品名、担当部署、Web サイトの URL などは、本リリース発表時点のものです。